



2026年2月16日

各 位

会 社 名 株式会社大日光・エンジニアリング  
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 山口 琢也  
(コード番号：6635 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 渡辺 武典  
電話 0288-26-3930

特別損失および特別利益の計上ならびに2025年12月期通期連結業績予想と実績値との  
差異に関するお知らせ

当社は、2025年12月期の個別決算および連結決算において減損処理による特別損失の計上ならびに投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却益として特別利益を計上するとともに、2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 特別損失（減損損失）の計上について

国内部門において、原材料の調達価格上昇分の価格転嫁が遅れたこと、地域貢献事業として展開しているアグリ事業ならびに農産直売所事業の収益性が低下したことなどにより、2025年12月期において減損処理による特別損失265百万円を計上いたしました。

2. 特別利益（投資有価証券売却益）の計上について

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益として174百万円を特別利益に計上いたしました。

3. 2025年12月期通期連結業績予想と実績値との差異（2025年1月1日～2025年12月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純 利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	39,000	920	870	510	75.47円
実績値 (B)	36,954	638	691	184	27.75円
増減額 (B - A)	△2,046	△282	△179	△326	△47.72円
増減率 (%)	△5.2	△30.6	△20.6	△63.9	△63.2
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	38,960	643	679	277	41.05円

#### 4. 差異の理由

売上高は、香港子会社および無錫子会社において計画を上回る結果となりました。一方、国内およびタイ子会社、中国無錫榮志電子において計画未達となりました。国内においては、親会社が産業機器向けおよび医療機器向けの受注減少に伴い計画未達、業務請負・人材派遣子会社および基板製造子会社が計画未達となりました。タイ子会社においては車載機器向け、中国子会社無錫榮志電子においてはゲーム機種向けの受注減少に伴い計画未達となり、連結売上高は計画比 $\Delta$ 5.2%となりました。

営業利益および経常利益は、香港子会社、中国子会社2社、タイ子会社が計画を上回る結果となりました。一方、国内においては、親会社の減収ならびに原材料の調達価格上昇分の販売価格への転嫁が遅れたことなどにより計画未達、オフィス・ビジネス販売子会社および基板製造子会社も計画未達となりました。また、ベトナム子会社は、コスト上昇分の販売価格への転嫁が十分進まなかったことなどにより計画未達となりました。以上の結果、連結営業利益は計画比 $\Delta$ 30.6%、連結経常利益は計画比 $\Delta$ 20.6%となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、上記理由に加えて、国内部門の収益性が低下したことなどにより減損処理を行い特別損失265百万円計上ならびに投資有価証券の一部売却による投資有価証券売却益として特別利益174百万円計上いたしました。計画比 $\Delta$ 63.9%となりました。

以 上